

TRIM REPORT



株主通信

第38期 決算報告

2019年4月1日～2020年3月31日

株主の皆様へ

グローバルなメディカルカンパニーへの挑戦



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。当連結会計年度におきましては、第4四半期に新型コロナ禍による影響を受けたものの、医療分野の伸長もあり、増収となりました。当社グループ全般に亘り、グローバルなメディカルカンパニーへ向けて着実に成長しております。

株式会社日本トリム 代表取締役社長 森澤 紳勝

ウォーターヘルスケア事業 世界中で健康意識の高まり

当社の整水器は、厚生労働省所管の管理医療機器として「胃腸症状の改善」が認められております。新型コロナウイルスに対抗するには免疫力が重要といわれておりますが、腸は免疫力の約70%を担っております。腸は、臓器の中でも第二の脳とも呼ばれ、今回の新型コロナ禍による免疫力への関心の高まりから「腸活」がさらに注目されており、今後、需要は高まっていくものと考えております。新型コロナ

禍により、短期的には厳しい市場環境の影響を受けるものの、健康維持・増進、疾病予防、衛生管理など多岐にわたる分野で注目いただいております。今年度には、5報の論文発表も予定されており、その波及効果もあわせて電解水素水整水器の普及を拡大してまいります。一方、ストックビジネスであるカートリッジ販売やインドネシアのボトリング事業は順調に伸長しております。

医療関連事業 電解水透析・再生医療分野が伸長

電解水透析事業では、国内大都市圏で中核となる病院への導入が決まり、導入見込み先も増えてまいりました。患者のQOL向上とともに、病院経営にも収益面で寄与することが報告されており、その実証に向けた取り組みも進めております。近い将来のグローバルスタンダードへの発展を目指しております。

再生医療分野では、国内最大の民間さい帯血バンクであるステムセル研究所の業績が順調に伸長しております。現在、日本国内でも脳性麻痺や自閉症に関する臨床研究が実施されており、それらの進展とともに、さい帯血保管へ

の需要は大いに高まることを見込まれます。本年3月5日、同社の東京証券取引所への新規上場が承認されましたが、新型コロナ禍に端を発するIPO市場の動向等の情勢を総合的に勘案した結果、一旦延期いたしました。市場動向を見極めできる限り早期の上場を考えております。

中国病院事業では、遅れている公的保険の適用承認を待ちながら本格的稼働に向けて取り組んでおります。患者数の増加は想定より遅れてはおりますが、今般の医療ニーズの高まりから将来性は非常に大きな事業であり、引き続き着実に進めてまいります。

当社グループは、創業以来変わらぬベンチャー精神をもって、引き続き積極的に事業拡大に邁進してまいります。株主の皆様には、引き続き相変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

ウォーターヘルスケア事業

整水器 健康経営

当社の整水器は、厚生労働省所管の管理医療機器として「胃腸症状の改善」が認められており、本年3月の健康経営優良法人2020の認定も背景に、健康増進・衛生管理の観点からますます注目いただいております。5月には、113台を法人一括導入いただいた事例も出ました。今後は、ECサイトの整備やSEO対策などのWEB施策にも注力し、整水器の普及拡大を実現してまいります。

本年6月からは、新たな取り組みとして、いま除菌で注目されております次亜塩素酸水生成器の取り扱いをスタートする予定です。



スポーツ健康科学部との共同研究を発表 (立命館大学)

本年4月に、立命館大学との共同論文が、生理学の主要国際誌「Temperature」に掲載されました。真夏の熱暑は長距離選手のエネルギーを奪い、記録に影響しますが、今回の研究では電解水素水を競技中に飲用するとその消費を抑えることがわかりました。マラソンに換算するとバナナ1本分です。来年オリンピックを控え、論文閲覧数も1ヶ月で急上昇するなど注目を浴びています。現在進行中の、理化学研究所、東京大学、東北大学、早稲田大学との共同研究も合わせて、整水器の普及拡大に向けて引き続きエビデンス強化に努めてまいります。



財務ハイライト 前期比較

第2四半期 通期

売上高

161億 16百万円

(単位:百万円)

前期比
6.2%増



営業利益

23億 3百万円

(単位:百万円)

前期比
2.4%増



医療関連事業



電解水透析事業

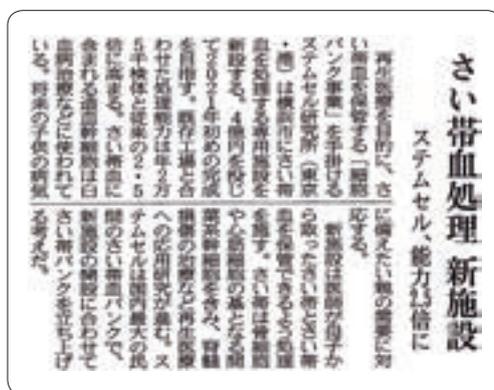
電解水透析事業では、営業活動に注力し、売上高139百万円と前期比755.9%増となりました。2021年3月期は、売上高230百万円、65.1%の増収を計画しております。本年4月21日に標準化とともに、コンパクト化、軽量化を実現した電解水透析多人数用システムの新モデルを発売しました。引き続き営業展開とエビデンス構築に注力し、電解水透析の普及を加速させてまいります。

電解水透析[®]多人数用透析用水作製装置
EW-SP75シリーズ



再生医療関連事業

国内最大の民間さい帯血バンクであるステムセル研究所の売上高が1,676百万円(前期比45.4%増)、営業利益382百万円(同74.1%増)と、引き続き順調に伸ばいたしました。現在、横浜に新しいCPC(細胞加工施設)を建設中で、処理能力は最大で2.5倍となります。ステムセル研究所のさい帯血保管事業は、これまで様々なメディアで取り上げられるなど、将来性が大いに注目されております。今後もマーケティング・営業体制強化に努め、中長期的視野に立った事業基盤の強化、拡充に取り組んでまいります。



■ 日本経済新聞:2020年6月1日掲載

経常利益

10億7百万円

(単位:百万円)

前期比

52.5%減



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

2億18百万円

(単位:百万円)

前期比

82.5%減



※当期経常利益の減少は持分法による投資損失1,466百万円のうち、中国の病院運営事業にかかる貸付金総額に対して保守的に貸倒引当金1,100百万円を計上したことに起因するものです。当貸倒引当金の影響を除いた場合の経常利益は2,108百万円(前期比0.6%減)となります。

Pick up news!

腸と腎臓の関連について

米国の退役軍人350万人を対象とした研究では、日常的に便秘が見られる場合、慢性腎臓病の発症リスクが13%、血液透析の導入リスクが9%上昇することが報告されています^{※1}。

最近では「腸腎連関」という言葉で啓蒙されるようになり、一部の便秘薬を慢性腎臓病の予防薬として追加認証すべく治験も進められています（臨床試験ID:UMIN000023850）^{※2}。また、腸は第二の脳とも言われており、腸の不調がうつ病等にも関わることを示唆する報告があります^{※3}。

※1 J Am Soc Nephrol. 28:1248-1258, 2017 ※2 https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000027479
※3 BRAIN and NERVE 68 (6): 641-646, 2016



胃腸症状の改善について

胃腸症状（慢性下痢・便秘・腸内異常発酵）をもつ患者が、pH9.5の電解水素水を2週間、毎日1L飲用したところ、飲用後の胃腸症状の総合改善度が88%と、臨床研究でも確認されております^{※4}。日本トリムは引き続き体に良い水を追求・普及し、快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献してまいります。

※4 北洞ら：第25回日本医学会総会シンポジウム「医療における電解機能水」要旨集（1999）

胃腸症状の総合改善度



会社情報

会社概要 (2020年3月31日現在)

商号 株式会社日本トリム NIHON TRIM CO.,LTD.
本社 大阪市北区梅田二丁目2番22号
ハービスENTオフィスタワー 22階
設立 1982年(昭和57年)6月12日
資本金 992,597千円
従業員 575名(関連会社含む)
主な事業内容 電解水素水整水器及びカートリッジ等の
製品開発・販売

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 16,000,000株
発行済株式の総数 7,882,042株(自己株式774,738株を除く)
株主数 5,913名

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び
全国各支店で行っております。
公告方法 電子公告とし、当社ホームページ(<https://www.nihon-trim.co.jp/>)に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子
公告による公告をすることができない場合の公告
方法は日本経済新聞に掲載する方法といたします。

株主優待制度のご案内

対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された
100株(1単元)以上の当社株式を保有する株主様

株主優待制度の内容

当社が販売する電解水素水整水器1台もしくは交換カート
リッジ1本の標準価格の30%の割引が適用されます。

